広島県の地震

２０２３（令和５）年１０月

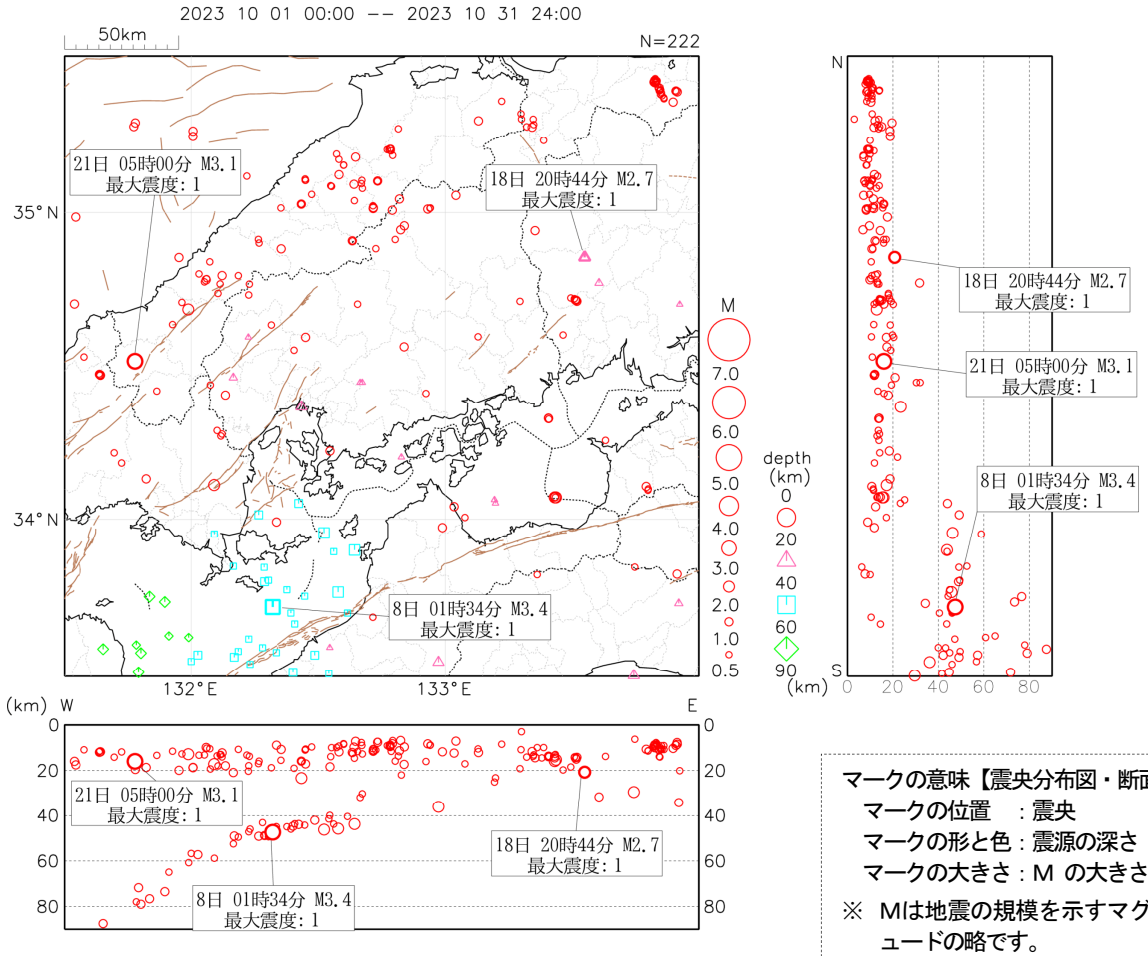
目　次

広島県及びその周辺の地震活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
震央分布図・断面図と地震概況
広島県における震度１以上の地震・・・・・・・・・・・・・・・２
震度一覧表と震度分布図
地震メモ　第 229 回・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
中国地方の活断層

広島地方気象台

広島県及びその周辺の地震活動

【震央分布図・断面図】　　2023 年 10 月 1 日～10 月 31 日



左上：震央分布図　右上：南北断面図　左下：東西断面図

※　震央分布図とは、震源直上の地表面での位置を表示した図です（震源とは地球内部で岩石破壊が始まった地点で、一般的には深さがあります）。

※　図中の茶線は地震調査研究推進本部 による活断層を表しています。

※　図の右上の”N”は図の範囲内における地震の回数です。

マークの意味【震央分布図・断面図】
マークの位置　：震央
マークの形と色：震源の深さ
マークの大きさ：M の大きさ

※　Mは地震の規模を示すマグニチュードの略です。

凡例（depth）【震央分布図】
○ は深さ 0～20 km未満
△ は深さ 20～40 km未満
□ は深さ 40～60 km未満
◇ は深さ 60～90 km未満

【地震概況】

この期間、広島県内で震度１以上を観測した地震は２回（前月１回）でした。

８日 01 時 34 分 伊予灘の地震（深さ 47km、M3.4）により、広島県呉市、愛媛県久万高原町・宇和島市・八幡浜市、山口県周防大島町で震度１を観測しました。

18 日 20 時 44 分 岡山県南部の地震（深さ 21km、M2.7）により、岡山県新見市・真庭市・高梁市、広島県庄原市で震度１を観測しました。

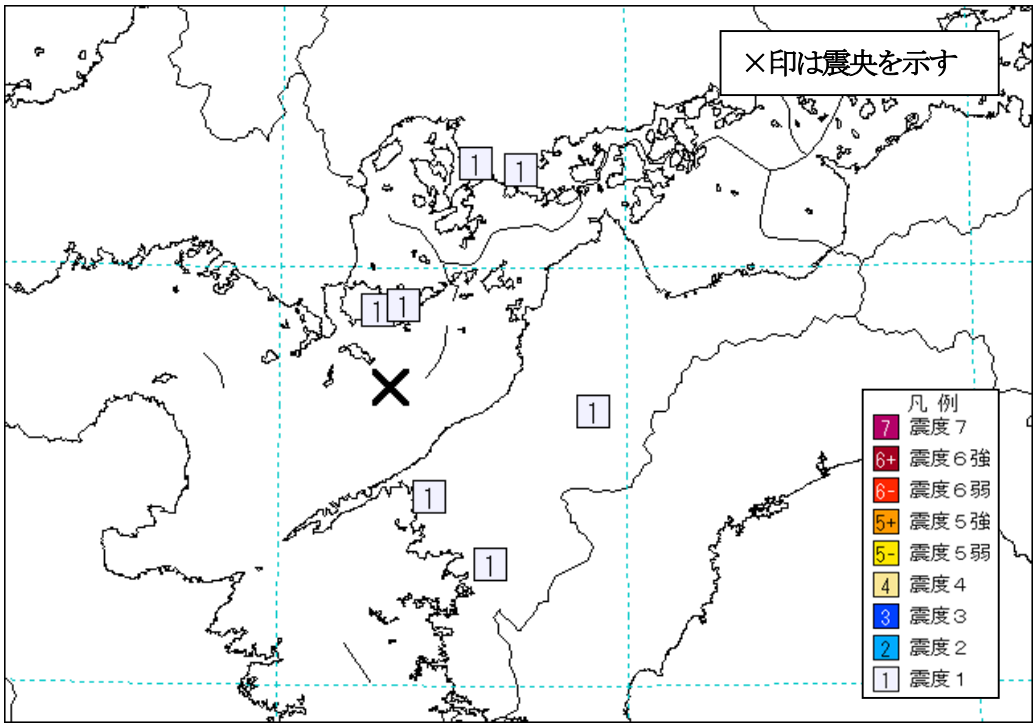
広島県における震度１以上の地震

【震度一覧表】

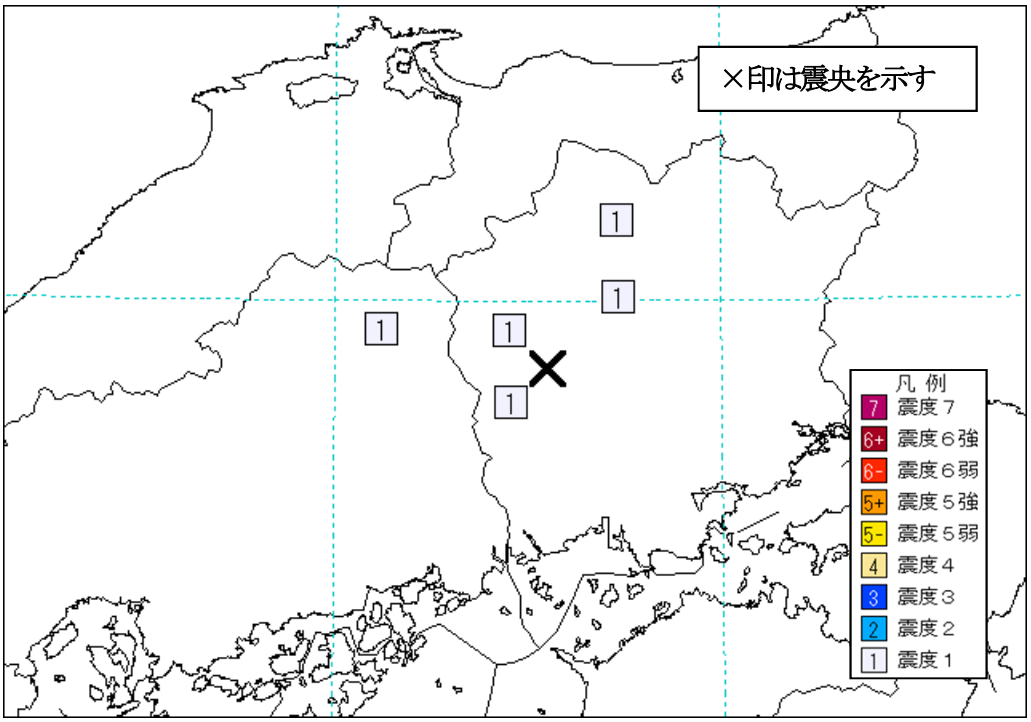
発震時刻（年月日時分） 広島県内の各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	M ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ
2023年10月08日01時34分	伊予灘	33° 42.7’ N	132° 19.2’ E	47km	M3.4
―――― 地点震度 ――――					
広島県　震度 1 ： 呉市二河町＊, 呉市川尻町＊					
2023年10月18日20時44分	岡山県南部	34° 51.2’ N	133° 32.9’ E	21km	M2.7
―――― 地点震度 ――――					
広島県　震度 1 ： 庄原市西城町大佐＊					

注）震度の地名に＊印を付したものは、広島県又は防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。

【震度分布図】



2023 年 10 月 08 日 01 時 34 分　伊予灘の地震の観測点震度分布図



2023 年 10 月 18 日 20 時 44 分　岡山県南部の地震の観測点震度分布図

地震メモ　中国地方の活断層　第 229 回

先日、国土地理院から島根県に位置する弥栄断層とその周辺の活断層の詳細を明らかにした「1:25,000 活断層図」が公開されました。

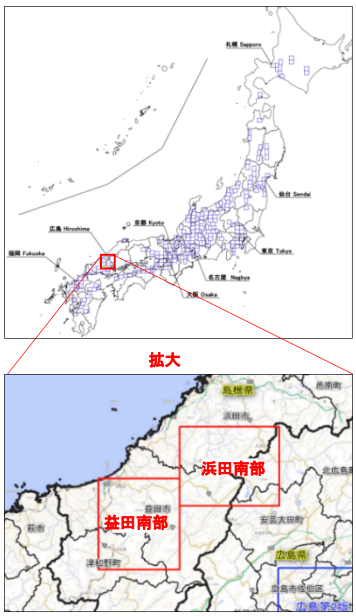
活断層図は、政府の地震調査研究推進施策の一環として、内陸地震の長期評価に必要不可欠な活断層の詳細な位置情報を「電子地形図 25000」上に表したものです。令和４年度に調査された成果として公開された全国８つの活断層図のうち、中国地方は「浜田南部」と「益田南部」の２つの図郭です。

（弥栄断層）「浜田南部」「益田南部」に記載

島根県浜田市と広島県北広島町の境界に位置する雲月山付近から島根県津和野町にかけて北東−南西方向に延びる活断層で、今回の調査で複数の区間が活断層と認定されました。

（戸川村断層）「益田南部」に記載

益田市匹見町の北東−南西方向に延びる活断層で、今回の調査で新たな活断層として確認されました。



上図）全国の活断層図（2023.9 現在）
下図）今回公開された活断層図

全国の活断層図は国土地理院のウェブサイトから閲覧できます。
https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/inspection.html

活断層について

活断層とは、最近の地質時代に繰り返し活動し将来も活動することが推定される断層のことで我が国の陸域には約 2,000 の活断層があるとされています。平成７年の阪神・淡路大震災を契機に設立された地震調査研究推進本部では、活動度や活動した際の社会への影響度等を考慮し、マグニチュード７以上の地震を引起こす可能性のある 114 か所を主要活断層帯に選定し、評価を行っています。一方、主要活断層以外にも被害が生じる地震が発生していることから、個々の活断層ではなく地域全体を総合的に評価することを目的として、平成 28 年に中国地方の地域評価を公開（令和２年に修正）しています。また、中国地方に隣接する日本海南西部についても海域活断層として令和４年に評価を公開しています。

評価の信頼度が低い断層帯や、海への延長部分、地表に現れている長さが短い活断層についても引続き調査が行われ、今回のような調査結果が順次公開されています。

◇　今回公開された活断層図の詳細は国土地理院のウェブサイトからご確認ください。
・国土地理院ホーム＞2023 年　報道発表資料＞（資料の訂正）活断層の正確な位置を知ろう
https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/afm_kouhyou_2023.html

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

なお、本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。

広島県の地震に関する問い合わせ先
〒730 - 0012
広島市中区上八丁堀 6 - 30 広島合同庁舎 4 号館 14 階
広島地方気象台 防災管理官室　　TEL：082 - 223 - 3965